



[花き部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

1. ラークスパー青花新品種「B7Aア」の育成

[要約]

「B7Aア」は、2色咲きのラークスパー青花新品種で、小花がこれまでにない花色であり、最内層がく片が紫、最外層がく片が鮮やかな青色である。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 野菜・花研究室、作物・経営研究室

[連絡先] 電話 086-955-0277

[分類] 技術

[背景・ねらい]

岡山農研では、これまでに花色がピンク及び藤色の系統を育成したが、生産者から白花あるいは青花品種の育成を求められていた。そこで、これまでにない特徴的な花色を持つ青花新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 2002年に市販品種から選抜を行い、育成した品種である。
2. 育成した新品種は、対照品種「カンヌディーブブルー」より、草丈、花穂がともに長く、側枝、葉の枚数及び小花数が多く、がく片は細長くて枚数が多い（表1）。
3. 育成した新品種の花色は、最外層がく片が濃紫青、最内層がく片が鮮青味紫の2色咲きで、特に最外層がく片は鮮やかな青色で発色が良く、特徴的である。また、最外層がく片の形が「カンヌディーブブルー」に比べて細長い（図1）。
4. 実需者からの評価は高く、取扱い意向も高い。また、ブーケやアレンジメントのポイントカラーとして使用でき、さらに冠婚葬祭にも利用できるという意見が得られている（表2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 作型別の切り花品質は未調査である。
2. 本品種は、「岡山LAR3号」の名称で品種登録出願中である（品種登録出願第34525号、令和2年6月2日出願公表）。「追記:令和3年12月」



[具体的データ]

表 1 「B7Aア」の主な特徴

特性調査項目		B7Aア	カンヌディーブブルー
植物体	草丈 (cm)	76	74
	茎の長さ (cm)	44	47
茎	茎の分枝性 (本)	7.0	5.9
	茎の色 (JHS)	濃黄緑 (3307)	暗黄緑 (3508)
	葉の枚数 (枚)	20	18
葉	葉の長さ (cm)	9.0	10.2
	葉の幅 (cm)	12.4	14.6
	花序の長さ (cm)	29	24
花序	1 花序に着生している小花数 (個)	25	14
	花冠の大きさ (cm)	3.7	3.9
花	花柄の長さ (cm)	2.6	1.9
	がく片の数 (枚)	20	15
	最外層がく片の全形	長楕円	広卵
	最外層がく片表面Aゾーンの色 (JHS)	濃紫青 (7607)	明青味紫 (8305)
	最内層がく片の全形	ひし	円~広卵
	最内層がく片表面Aゾーンの色 (JHS)	鮮青味紫 (8306)	濃青味紫 (8307)
生態的特性	開花日	7月2日	6月28日

耕種概要

播種：2015年3月23日、定植：2015年5月1日

表 2 「B7Aア」の項目別評価(5段階評価)

	高い	← 評価 →			低い	平均点
	5点	4点	3点	2点	1点	
色 ^z	7票	2票				4.8
草姿 ^{xz}	2票	4票	2票	1票		3.8
総合評価 ^z	5票	2票	2票			4.3
取扱意向 ^y	7票	1票		1票		4.6

^z 色・草姿・総合評価：5点「良い」～3点「どちらでもない」～1点「悪い」
^y 取扱意向：5点「取り扱いたいと思う」～3点「どちらでもない」～1点「取り扱いたくないと思う」
^x 本来の出荷時期より遅い7月上旬に評価を受けたため、評価時に主茎の小花が咲き終わっていた。そのため、主茎を取り除き、側枝の小花を開花させたものを用いた。



「B7Aア」 「カンヌディーブブルー」

図 1 「B7Aア」の花

[その他]

研究課題名：岡山オリジナルフラワーの次世代品種の開発

予算区分：県単

研究期間：2013～2017 年度

研究担当者：森義雄、土居典秀、笠原有加、山本晃郎